

# 豊田景気実感調査



Viewing over Our Toyota's Economic Condition

第12号

発行日 2017.6.5

## 平成29年5月 調査結果 “改善ながら平準レベルの景況感に止まる”

	現状判断 D I				先行き判断 D I				水準判断 D I			
	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合
豊田	49.8	47.5	55.6	49.4	49.5	49.8	48.6	49.5	48.8	53.2	52.8	50.7
全国	46.9	48.5	54.8	48.1	47.7	49.6	53.8	48.8	44.9	47.8	58.9	47.0
東海	49.8	—	—	49.4	48.8	—	—	48.2	46.8	—	—	48.5

【天気図の見方】 D I 値 大きな晴れ：60点以上 / 晴れ：50～60点未満 / 曇：40～50点未満 / 雨：40点未満

### 【まとめ】

前回11月調査に対し、今回は先の全国調査（内閣府。4月調査）と同様、若干の改善となりました。また、全国に先行する形での改善となっており、現状、先行き、水準の各総合判断において、全国を上回るDI値となりました。とくに雇用の現状判断並びに水準判断、加えて、企業の水準判断では、若干ですが、DI値は50を上回りました。（天気図で“晴れ”）

しかし、全体としては、依然天気図上“曇りの中に晴れが垣間見える”といった状況に止まっており、“踊り場”的な様相が続いています。モニターの方からも、「受注や見積り数が堅調推移している」（非製造業）、「必要なものは高くても購入する」（小売）、特に住宅部門では「持家に対する意欲が高く、購入価格の上昇が見られる」といった、今後の景況感の安定した改善を予感させる声が聞かれる一方で、「景気活性化となる起爆的要素がない」（人材派遣業）との根強い声も聞かれます。また、今回の特別調査でも先行きの所得増への期待感後退が見られ、これらと符合して、今回の先行き判断も、現状判断とほぼ同じ水準のDI値に止まっています。それだけ先行きについて、「期待値の糊しろ」が小さい現状を映す結果となりました。

### <特徴点>

- ①雇用については、足許の景況感は“晴れ”となっていますが、先行き判断は“曇り”と一転して先行き懸念が強まる結果となりました。全国と対比しても、足許の好調に比し、先行き懸念が際立っています。（全国の先行きは“晴れ”）モニターの方からは、「求人数は依然として高水準で推移している」、「地場産業の採用意欲は依然として堅調である」（いずれも職業安定所）とのプラス評価が聞こえる一方、人口減少等に基く需給逼迫下、「仕事量の格差、求人需給のミスマッチを感じる」との声も少なくなく当地区では「人が集まらない」状況への懸念が全国に先駆けて強まっていることが窺われます。
- ②住宅についても、雇用と同様、足許は“晴れ”、先行きは“曇り”との対照的な動きとなりました。全国対比でも、足許の好調さが目立つ反面、先行き判断はほぼ全国並みとなりました。当地区ではそれだけ好調さの反動減への懸念が強いと見られます。
- ③特別調査では、消費行動面で格別の変化は見られませんでした。その中で、所得見通しの期待後退が観察されました。またプレミアムフライデーの採用はまだ当地区では極めて低いものに止まっている様子です。その一方で、豊田市駅前通り北地区市街地再開発に対するアンケート調査では、“地域活性の起爆剤”への期待感が強まっていることが推察されました。

1. 調査期間：平成29年5月1日～25日

2. 調査客体：300名（家計/企業/雇用等） うち有効回答：271名 / 有効回答率：90.3%

3. 調査項目：  
 ・ 2～3ヶ月前から現在までの景気の変化をどう感じますか？ ⇒ 現状判断 D I  
 ・ 現在から2～3ヶ月後までの景気の推移をどう予想しますか？ ⇒ 先行き判断 D I  
 ・ 現在の景気的水準をどう判断されますか？ ⇒ 水準判断 D I

<問い合わせ先>  
 豊田商工会議所：丹羽  
 0565-32-4595  
 豊田信用金庫：高橋  
 0565-36-1384

4. DI算出方法：

評価段階		5	4	3	2	1
評価	現状判断	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
	水準判断	良い	やや良い	どちらでも	やや悪い	悪い
付与点数		1	0.75	0.5	0.25	0

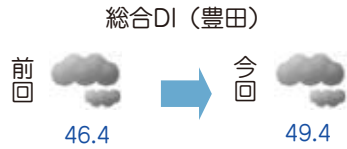
各判断項目毎に、評価段階別の回答者数構成比（100%比）を算出し、その構成比に上記の付与点数を掛け、合計します。それがDI値です。

本調査は、豊田市に居住または勤務されている個人の方で、家計、企業、雇用の動向を敏感にキャッチ出来る方を対象に、身の周りの景気の実感を聞く調査です。内閣府の「景気ウォッチャー調査」（こちらは毎月実施）に準じて、豊田商工会議所と豊田信用金庫とが協同し半年に1回（5月/11月）実施しています。全国、東海は、内閣府調査の4月調査結果です。また、業種別には、家計は小売、飲食、サービス、住宅、企業は製造、非製造を指します。なお、本調査では別に特別調査を実施しています。

<調査にご協力頂いた皆さまに心よりお礼申し上げます。>

# 現状判断

## 概括



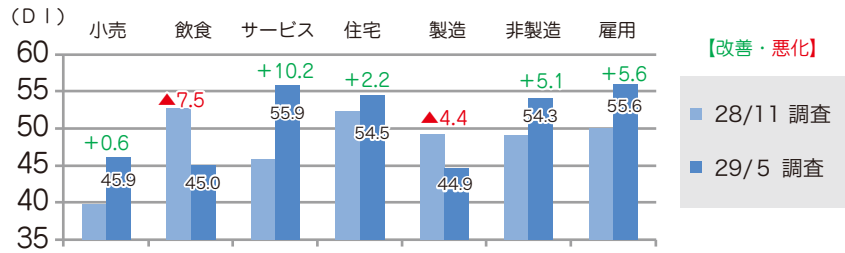
- 総合：改善。曇り。
- 部門別
  - ・家計：改善。曇り。
  - ・企業：悪化。曇り。
  - ・雇用：改善。晴れ継続。
- 全国比
  - ・総合：若干の優位に改善。
  - ・部門別：
    - 家計、雇用が優位に改善。
    - 企業は劣位のまま。

前  
回  
比

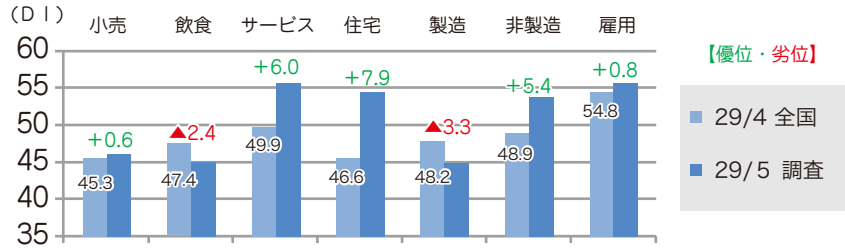
全  
国  
比

## 業種別内訳

サービスに次ぎ、非製造、雇用、住宅が改善。反面、飲食、製造は悪化。



住宅、サービス、非製造が全国優位を改善。雇用も全国並みの高さ。



# 先行き判断

総合DI (豊田)

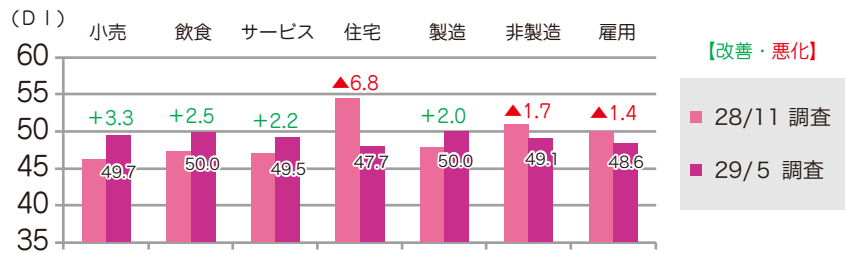


- 総合：微改善。曇り。
- 部門別
  - ・家計：改善。曇り。
  - ・企業：改善。曇り。
  - ・雇用：曇りに悪化。
- 全国比
  - ・総合：若干の優位に改善。
  - ・部門別：
    - 家計、企業が優位に改善。
    - 雇用は劣位のまま。

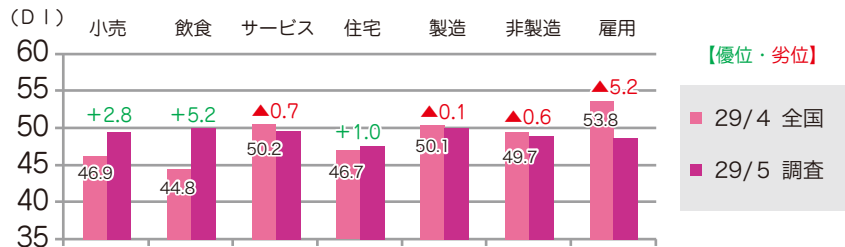
前  
回  
比

全  
国  
比

小売、飲食、サービスが前回比改善。住宅、非製造、雇用が悪化。



雇用は全国に見劣り、小売、飲食は優位を回復。住宅は全国並み。



# 水準判断

総合DI (豊田)

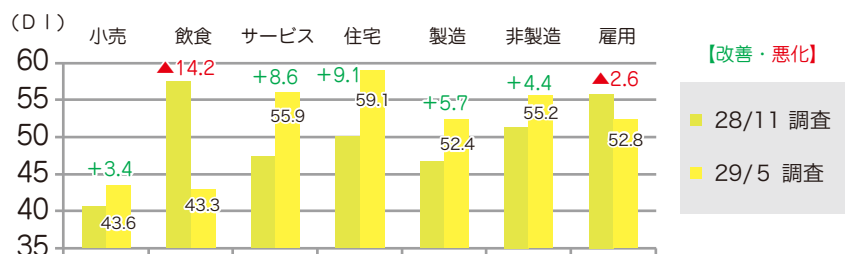


- 総合：晴れに改善。
- 部門別
  - ・家計：改善。曇り。
  - ・企業：晴れに改善。
  - ・雇用：悪化。晴れ継続。
- 全国比
  - ・総合：優位維持。
  - ・部門別：
    - 家計、企業が優位に改善。
    - 雇用は劣位のまま。

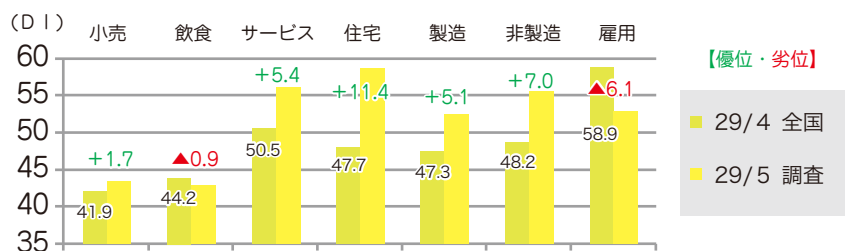
前  
回  
比

全  
国  
比

サービス、製造が“晴れ”に改善。住宅、非製造、雇用も“晴れ”。



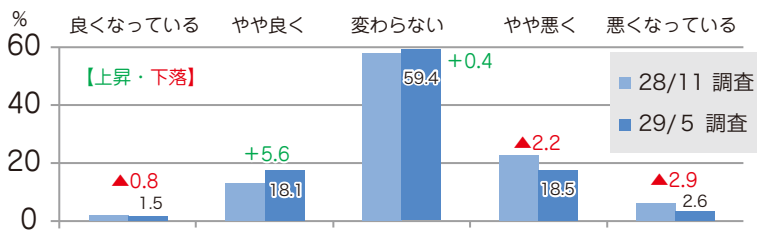
サービス、住宅、製造、非製造の優位が目立つ。



## 評価段階別内訳

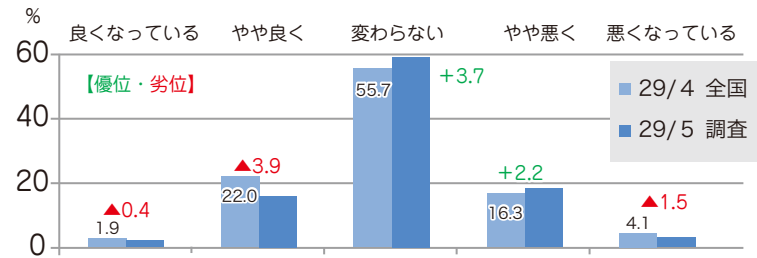
“変わらない”が過半の中で“やや良くなっている”が増加。

前回比



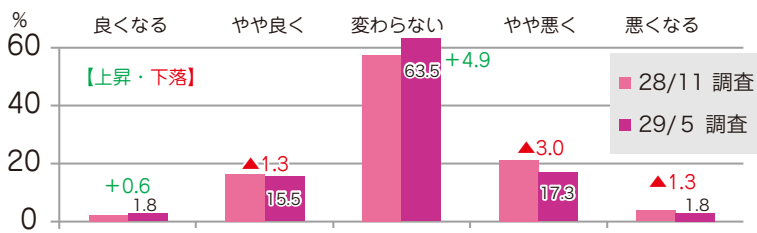
見方は分散。その中で“変わらない”への集中傾向が強まった。

全国比



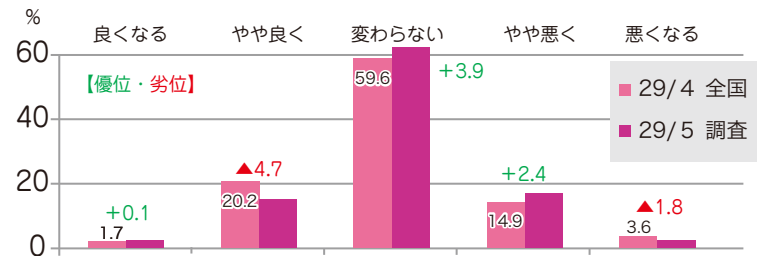
“悪くなる”が減り、“変わらない”が増えた。

前回比



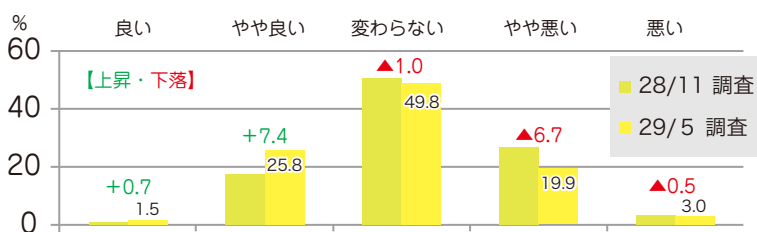
見方は分散。その中で、“変わらない”への集中が全国に比し高い。

全国比



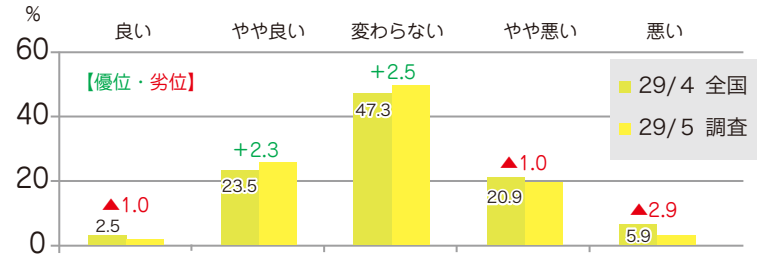
前回に比べ、“やや良い”“良い”との見方が増えた。

前回比



“変わらない”“やや良い”との見方が全国より若干多い。

全国比



## 景気モニター一生の声

＜＋：回復感あり－：回復感なし＞

- ＋：店舗拡大、利用顧客も堅調に推移している。  
(コンビニ経営者)
- ＋：地域性かもしれないが、値段を見ないで買うお客様が多い。  
(レストラン経営者)
- ＋：よりグレードの高い客室プラン志向が高まっている。  
(都市型ホテル経営者)
- ＋：トヨタ関連企業従業員の持家に対する意欲が高く、購入価格の上昇が見られる。  
(住宅販売会社経営者)
- ＋：求人数は依然として高水準で推移している。  
(職業安定所職員)
- －：消費動向に変化はないが、購買チャネルの急激な変化により顧客数の減少が見られる。  
(旅行代理店従業員)
- －：景気対策をしているわりに、収入は増えず、物価だけが上がり、財布の紐を締めている。  
(商店街代表者)
- －：大型店舗の進出、安売りの影響で来店客は減り、原価割れでも勝てない。  
(一般小売店経営者)
- －：来場者は増加しているが、消費単価は低くなっている。  
(ゴルフ場従業員)

＜＋：回復感あり－：回復感なし＞

- ＋：中国、トヨタ系のお客様は安定している。  
(都市型ホテル経営者)
- ＋：見積り依頼数の増加とその内容から判断。  
(鉄鋼業経営者)
- ＋：区画整理事業の使用収益が始まり、物件に動きが出てきている。  
(不動産業経営者)
- ＋：地場企業の採用意欲は依然として堅調である。  
(職業安定所職員)
- ＋：食に対する意欲の高まりを感じる。  
(一般レストラン経営者)
- －：小遣いは増えていない。貯蓄傾向は依然強い。  
(スナック経営者)
- －：業界自体の衰退、客単価の下落。  
(商店街代表者)
- －：少子高齢化で労働人口が減少しているが、給与水準は上がっていない。  
(通信会社社員)
- －：価格競争の様相は変わらず、受注動向にも変化ない。  
(金属製品製造業経営者)
- －：景気活性化となる起爆剤的要素がない。  
(人材派遣会社従業員)

### 自由回答：景気モニターからの声 “一部紹介”

- ・北街区は秋オープンするが、近隣都市にも大型商業施設が完成する為、ハードもソフトもより積極的な投資を。
- ・市外からも集客できる大型商業施設やキザザニアのような体験型施設を誘致してほしい。
- ・再開発にプラスして、お土産の開発、駅前商店街の復活、個人店への理解を進めてほしい。
- ・北朝鮮問題とトランプ政権の経済政策が一番の関心事。
- ・2020年以降の景気が心配です。
- ・仕事量の格差、求人需給のミスマッチを感じる。
- ・子供3人っ子政策、家庭支援などに取組んでほしい。
- ・IDECが始まったが、メリットデメリットなどを知りたい。勉強会があれば参加したい。
- ・若手経営者、個人事業主が成長できるようにバックアップしてほしい。豊田市の中心だけでなく。
- ・地場産業の戦略などを広く周知させることに取組んでほしい。そうした情報がほしい。
- ・消費者の購買状況などを調査してほしい。

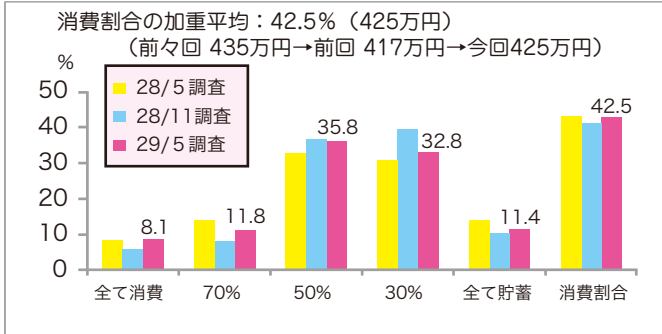
～ 貴重なご意見、ありがとうございました。～

# 【特別調査】

## 豊田市民の消費意欲・所得見通し・幸福度

※平成24年から調査を継続しています。

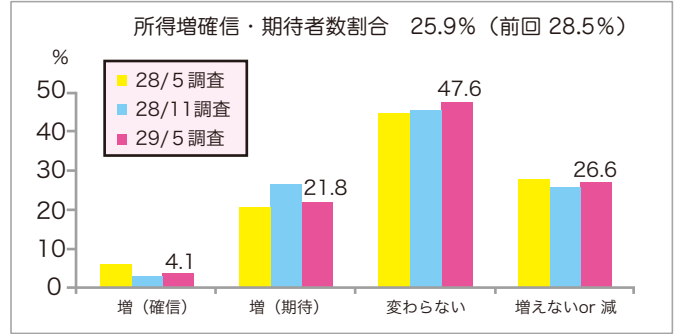
宝くじ1000万円が当たった場合、何%を消費に回しますか？



### 消費意欲は盛り上がり

今回の平均消費割合は42.5%と前回比若干増となりましたが、調査以来40%台前半で一進一退しており、今回もその中の動き。

今後、所得は増えていくと思いますか？

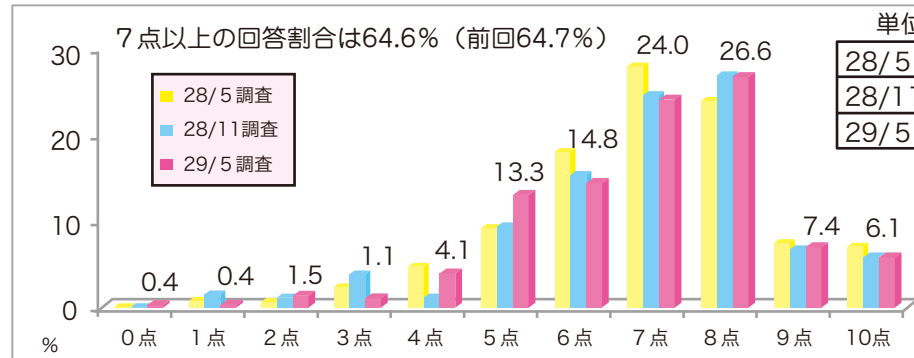


### 所得増への期待感後退

所得増確信者数こそ増えましたが、増えない・減少、変わらないとの層が増加しており、むしろ所得増加への期待感は後退しています。

あなたの幸福度は何点ですか？

【とても幸せを10点・とても不幸を0点とした場合の幸福度点数】



単位 %	0点～	4点～	7点～
28/5調査	4.0	29.2	66.8
28/11調査	6.7	28.6	64.7
29/5調査	3.3	32.1	64.6

### 点数分布が拡がり

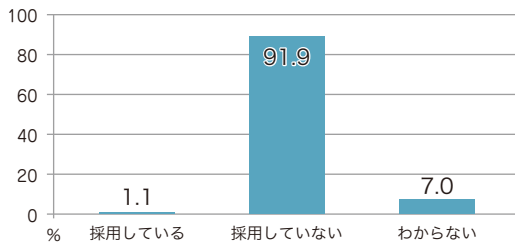
7点以上の回答割合が引き続き6割強の高さを占めていますが、その割合は減少傾向を示しています。主観的な判断を寄せ集めても客観性がないとのご指摘もありますが、本調査結果と経済環境などとの相関にも注意を払っておく必要性が高まっています。

## プレミアム・フライデー採用状況調査

あなたの勤務先、経営する会社はプレミアム・フライデーを採用していますか？

### “採用”はわずか1.1%

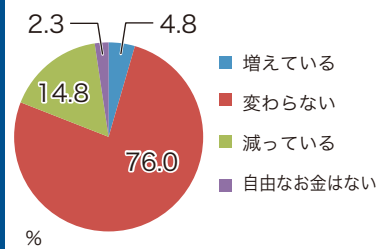
調査では現状当地区での採用率は極めて低いものでした。「採用を検討したい」との声一方で「事業柄不可能」「そんな余裕はない」「月末は繁忙時期」「大手や取引先がそもそも採用していない」との声も多く聞かれました。



自由に使えるお金【小遣い等】は増えましたか？

昨年同時期比の回答割合

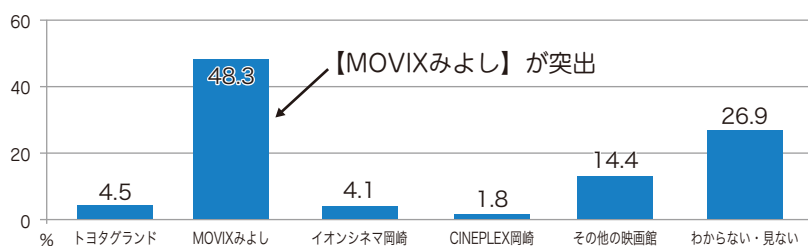
増えない小遣い



昨年11月以降自由に使えるお金が“増えている”が僅か4.8%に対し、変わらないは実に76%、“減っている”は14.8%でした。消費割合、所得見通しに関する特別調査の結果を過不足なく反映しています。

## 豊田市駅前通り北地区市街地再開発に関する調査

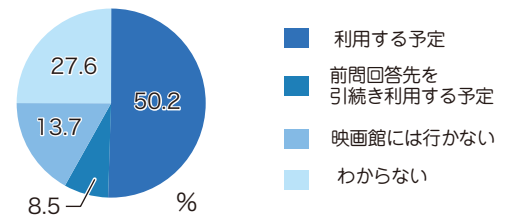
普段、どこに映画を見に行きますか？



景気モニターの実に半数が、「MOVIXみよし」を利用されています。

この再開発により、豊田市駅前に映画館が出来ます。この映画館を利用しますか？

駅前映画館への期待は高い！ 50%の方が利用予定



再開発ビル「キタラ」は11月オープンです。新映画館については、映画館には行かない層や分らない層の需要発掘も期待される場所です。そのためにも中心市街地の賑わい創出の起爆剤として期待する声が高まっています。

次回調査は平成29年11月実施予定です。